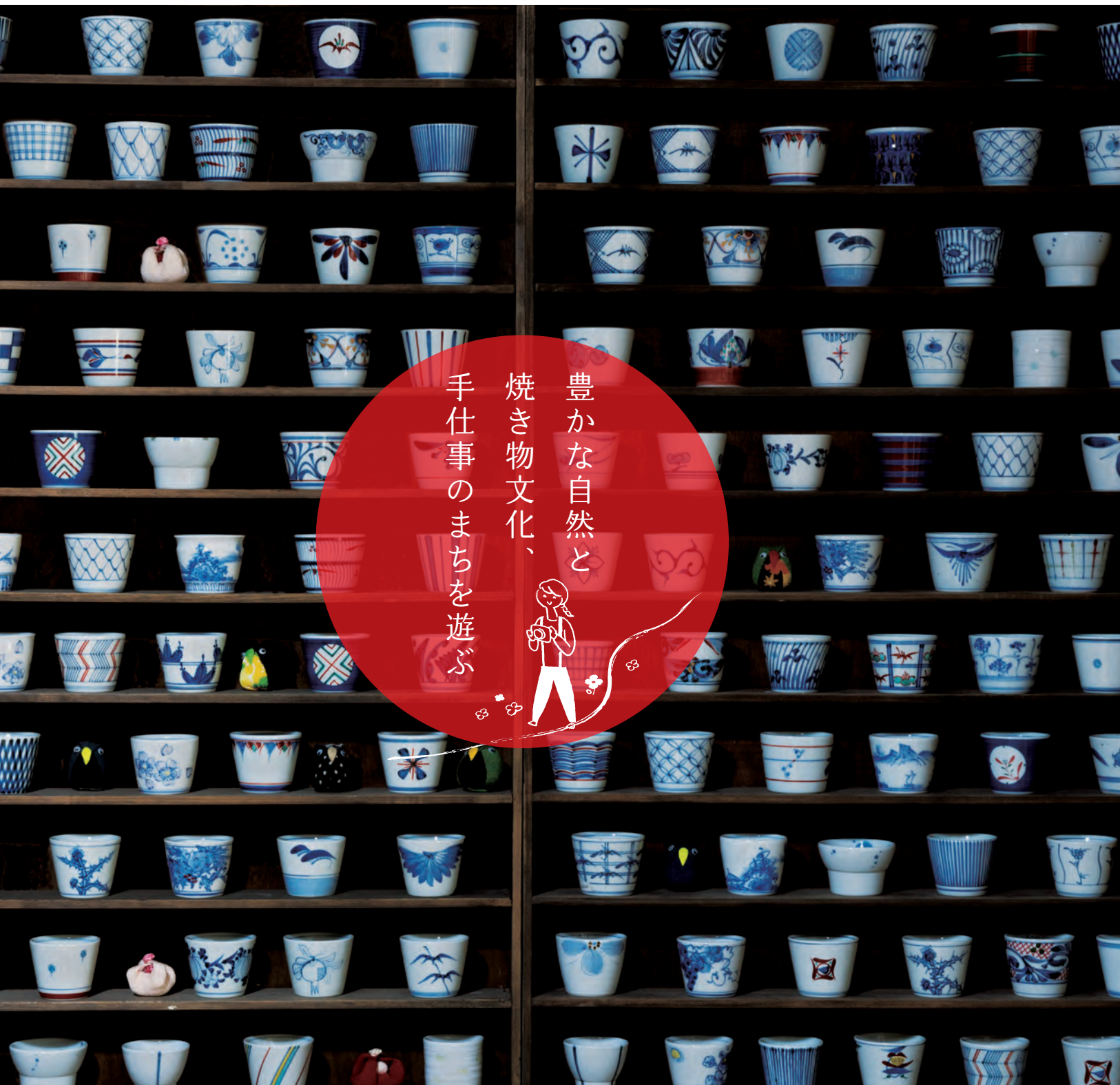




とべ 陶街道 をゆく

四国
愛媛



豊かな自然と
焼き物文化、
手仕事のまちを遊ぶ



陶街道五十三次41番 砥部山公園

砥部の砥は、砥石の砥
ルーツは砥石山
今は切り立った柱状の岩肌が名残
となった砥石山は、かつては知られた
『伊予砥』の産地。砥部焼磁器創業の
原料となった砥石屑はここで掘られ
たもの。砥石山の砥石は700年代の
正倉院文書にも記載を残す。このあた
り一帯は砥山といわれ、「外山」の地名
となり、時代を経て「砥部」になったと
いわれている。



四国
えひめ 砥部

清流とほたる 砥部焼とみかんの町

発行 砥部町 商工観光課

〒791-2195
愛媛県伊予郡砥部町宮内1392番地
Tel: 089-962-7288
Fax: 089-962-4277
<http://www.town.tobe.ehime.jp/>

発行日 令和4年11月

のどかで清らかな陶郷の風を感じて

『陶街道五十三次』のあるまち

風が
吹き抜ける
陶祖ヶ丘

もくじ

砥部南部	2
大南・五本松	6
窯元めぐりをしよう	7
砥部焼を創ってみよう	8
砥部北部	10
動物園周辺	12
広田地区砥部の山里	14
季節のイベントカレンダー	16
陶街道五十三次	17
交通インフォメーション	18
メイドイン砥部・イートイン砥部	19



砥部町

- ・人口:20,520人 (R4.9.1現在)
- ・面積:101.59km²
- ・地形:東西9km、南北21kmの細長い形。
愛媛県の中でもほぼ中央に位置し、松山市、伊予市、松前町、内子町、久万高原町と隣接する。
- ・イメージキャラクター:とべっち

素朴でアートな焼き物の里 陶街道は文化と人をつなぐ道

砥部町は、県都・松山市に隣接しているベッドタウンでありながら、何とものどかな焼き物の里という二つの顔を持つ。その歴史は江戸時代から続き、手仕事の技術は脈々と受け継がれ、今なお80ほどの窯元が点在している。

この焼き物の里には「陶街道」と呼ぶ道がある。砥部町の魅力をつないだスタンブラーの面白さが相まって、老若男女問わず楽しげに回遊する。訪ねてみれば、二百数十年の砥部焼の歴史、名もなき陶工たちの熱い想い、傑出した偉人たちの技を知るよすがとして、貴重な存在でもあることに気づくだろう。



☎089-962-6600
〒687-0001 大南町大南335
🕒9時～17時
📅月曜（祝日の場合は翌日）、
12/29～1/1
👤大人300円、小中学生100円、
高校・大学生・65歳以上200円
🆓無料

巻頭MAP B-6



手前は古砥部陶器の代表的作品「北川毛鉄絵松竹梅文徳利」（高さ約35cm）



☎089-962-2311
〒687-0001 大南町大南1441
🕒8時～17時
📅月曜ほか不定休
👤観覧料 無料
🆓無料



ぬるっとした光沢が砥部焼の歴史を語る大登窯



巻頭MAP B-6

砥部焼最大の老舗窯元 梅山大登窯（梅野精陶所）

明治15年開窯の梅山窯、梅山古陶資料館には、その歴史が物語る貴重な作品が展示されている。またトンバリ（煉瓦）で形成された大登窯は、丘陵斜面に当時のままの姿を残し、現在稼働中の製作工程と併せて見学できる。隣接する直売店で購入も可能。敷地内に創業者の生家が残されており、茅葺屋根の佇まいは趣深い。



そぞろ歩きが楽しい店先アート。ユーモアとセンスが光るタイトルにも笑顔がこぼれる



まちかどのアート
【大南商店街モニュメント】

巻頭MAP B-6



巻頭MAP B-6



小高い丘から山里を一望 陶板の道から陶祖ヶ丘へ

砥部焼伝統産業会館の南、坂村真民記念館の横を出発点に、砥部町陶芸創作館までの約500mを陶板の道と呼び、地元の陶工が絵付けした陶板約580枚が足元や壁に埋められている。緩やかな坂を案内に従って陶祖ヶ丘に出ると、四季折々に色をかえる人里を一望できる。心地よい風が語りかけるように頬を撫で、この郷をもっと知りたいと胸がときめいてくる。

砥部南部
大南・五本松

驚くような偉人の名にも出会う
里山に広がる呉須ブルーの陶源郷

「砥部焼の魅力をギュッと詰め込んだエリア」



散策にちょうどいいコースで、砥部焼の魅力を味わいながら歩ける

…のマークは陶街道のポイントの番号です



温故知新の風が舞う丘 陶里ヶ丘

砥部焼の振興と後継者育成のため窯業団地として誕生した見晴らしのよい丘に、お洒落なギャラリーや工房が軒を連ねる。モダンで個性的な色や絵柄、新しい形の作品に出会ったり、作り手と直接話ができる窯元巡りはおすすめ。



1.3) 陶里ヶ丘にはギャラリーのように見て回れるお店が多い 2) 団地内には何軒もの窯元の店舗が並ぶ 4) 丘の上に立つ陶里ヶ丘の石碑 5) 伝統的な作品から最近では斬新で感性あふれるモダンな作品まで多彩に並ぶ

☎089-962-7288(商工観光課)
📍砥部町五本松885付近
🆓無料

巻頭MAP C-6

旅の記念に人気の体験 砥部町陶芸創作館

昭和58年に創設された砥部焼の体験施設。素焼きの皿や湯のみなど約80種類の中から器を選んでの絵付け体験や、粘土から形を作るろくろや手びねりが体験できる。指導員が教えてくれるので初心者でも大丈夫(一部要予約)。



☎089-962-6145
📍砥部町五本松82
🕒9時～17時
📅木曜(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3
🆓無料

巻頭MAP B-6



砥部焼体験についてはP7をご覧ください。

各窯元の商品を販売 砥部焼観光センター 炎の里

見るだけでも楽しい多くの砥部焼作品が並ぶ館内では、絵付け、粘土での造形が楽しめる体験、製土から成型、乾燥、窯と製造工程を回る見学などができる。ショッピングや休憩など、時間や目的に合わせて楽しめる立ち寄りところだ。



☎089-962-2070
📍砥部町千足359
🕒9時～17時
📅12/31
🆓無料

巻頭MAP B-5



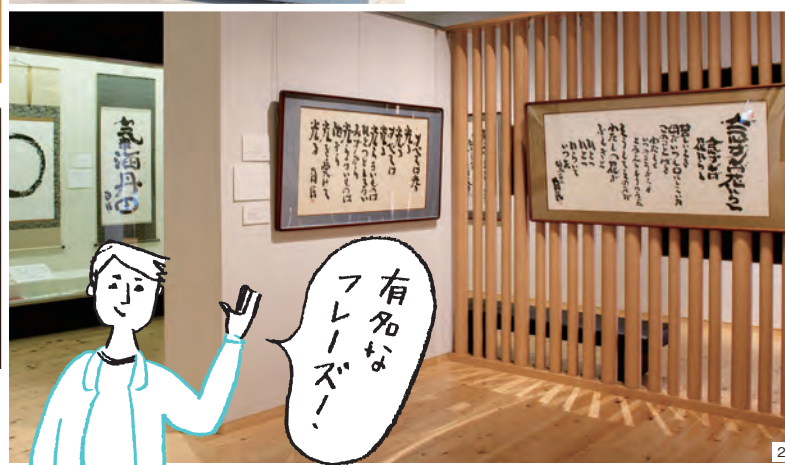
心にしみ入る詩に触れる 坂村真民記念館



「念ずれば花ひらく」で知られ、砥部を愛し終の住処とした詩人・坂村真民の記念館。黒い天井と白い檜板の床の展示室には愛にあふれた作品が並ぶ。書斎を再現したコーナーには、実際に使われていた小さな机と電気スタンドがあり、机に置かれたノートにメッセージを残すこともできる。

☎089-969-3643
📍砥部町大南705
🕒9時～17時(入館は16時30分)
🎫一般400円、高校生・大学生 300円、小・中学生 200円、65歳以上 300円
📅月曜(祝日の場合は翌日)、12/29～1/1、展示替え期間(要確認)
🆓無料

巻頭MAP B-6



1) 記念館外観 2.3) 家族愛にあふれる作品を展示する館内 4) 真民さんの詩の絵はがきなど記念館グッズは人気が高い 5) 在りし日の坂村真民さん 6) 真民さんの愛した朴の花は、季節が来ると可憐な花が咲く

大南・五本松エリアを楽しく！ 散策ルンルンマップ





砥部焼は今もほとんどの工程が手作業。その製作を体験して陶工気分を味わいながら、この世にたったひとつのオリジナルをつくってみよう。皿や湯のみに絵付けをするコースや、粘土から手びねりやろくろで自由に形をつくるコースがあり、仕上がった作品を送ってもらうこともできる。いざチャレンジ!

砥部焼を創ってみよう

砥部焼体験は自分だけのオリジナル

【ろくろ】



粘土をろくろにのせて、回転させながら形づくっていく。最初は少し難しいが、専門スタッフが指導してくれるので安心。

所要時間／30分程度
仕上がりまで／1カ月～1カ月半程度

【手びねり】



粘土を手でこねたり伸ばしたり、土の感触を味わいながら、自由にいろいろな形をつくってみよう。

所要時間／1時間～1時間半
仕上がりまで／1カ月～1カ月半程度

【絵付け体験】



皿、湯のみ、茶碗などの中から選び、素焼きの器に筆で絵や文字をかく。子どもから年配の方まで楽しめる。

所要時間／30～60分
仕上がりまで／3週間程度

※以上は、砥部町陶芸創作館における所要時間、仕上がりまでの期間の目安です。

砥部焼ができるまで

- 1 陶石採掘～粉碎精製
- 2 土練り
- 3 成形 (手びねり、ろくろなど)
- 4 削り仕上げ
- 5 乾燥～素焼き
- 6 絵付け
- 7 施釉 (釉薬かけ)
- 8 本焼き
- 完成!

ワンポイント
アドバイス

- 絵付けで使う呉須という染付の顔料は、洋服についたら取れないので注意。
- 作品の大きさは、素焼きで1割、本焼きで1割縮むよ!
- 手びねりやろくろは、素焼きの後で絵付けもできるし、白磁のままでも本焼きをすることもできる。



体験できる施設一覧

農村工芸体験館

DATA P11
☎089-969-5087
〒砥部町総津117
☎9時～17時
🔥火曜(祝日の場合はその翌日)、12/30～1/3
🆓無料

- 👉 600円～色数15色
- 👉 粘土2000円/kg～(要予約)
- 👉 粘土3000円～(指導料込)

梅野精陶所

DATA P3
☎089-962-2311
〒砥部町大南1441
☎8時～17時
🔥月曜ほか不定休
🆓無料

- 👉 500円(小皿)～焼き上がりまで約10日 地方発送可(送料別)

砥部焼観光センター 炎の里

DATA P4
☎089-962-2070
〒砥部町千足359
☎9時～17時
🔥12/31
🆓無料

- 👉 550円～
- 👉 1870円～(10名以上は要予約)

砥部町 陶芸創作館

DATA P4
☎089-962-6145
〒砥部町五本松82
☎9時～17時
🔥木曜(祝日の場合はその翌日)・12/29～1/3
🆓無料

- 👉 300円(箸置き)～
- 👉 1人1500円～(要予約)
- 👉 1人1500円～(要予約)

砥部焼陶芸館

DATA P9
☎089-962-3900
〒砥部町宮内83
☎9時～17時
🔥水曜(祝日の場合は翌日)、1/1
🆓無料

- 👉 990円～
- 👉 1人2750円(要予約)約90分

※料金、所要時間、仕上がりまでの期間、郵送サービスなどについては、各施設にお問い合わせください。

窯元めぐりをしよう

砥部焼の郷で、窯元をめぐる小さな旅

『ぼつとりとした厚みがあり、すべらかな白磁に清々しい藍色(呉須)が映える』そんな砥部焼は、古くから人々の暮らしの中にあり、絶えず受け継がれてきた。やがて衣食住の変化とともに、時代に寄り添い少しずつ変化したり、窯元ごとに個性を魅せる新しい取り組みも生まれた。それぞれの意味や思いを知ると、新しい砥部焼の楽しみ方に出会えるかも!? 砥部焼の歴史を訪ね、お気に入りの作品を見つける窯元めぐりの旅に出発しよう!

これが伝統的文様



【なずな紋】

【太陽紋】



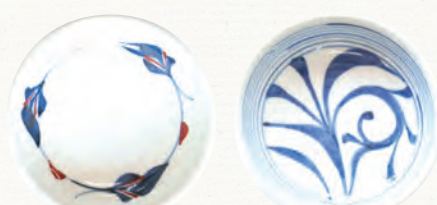
【縁唐草紋】

【丸抜き紋】



【十草紋】

【赤笹紋】



【三葉紋】

【ひとつ唐草紋】



女性や若い作家も増え、新しい目線と発想で砥部焼ファンの裾野を広げている。

窯元めぐりに出かけるなら

どこへ行くか

まずは「窯元めぐり帖」を手に入れよう。バッグやポケットにも入る小ぶりの冊子で、町内約80の窯元をガイド。



何で行くか

窯元は大南、五本松、北川毛に集中。車を砥部焼伝統産業会館に停めて歩くか、レンタサイクル(有料・台数に限りあり)を利用するのもよい。

地元人ならではの情報は?

窯元によっては事前連絡が必要などところもある。車でないと行くのが難しい所もあるので、事前に調べておくこと。



山の中腹から広がる焼き物の里はのどかな田園も広がる

温故知新

砥部焼の歴史と発展

◆大洲藩の命で陶磁器の開発

外山から良質の陶石が産出され、燃料となる松の木にも恵まれた。麓の傾斜地は登り窯に適し、砥部焼は大洲藩の庇護のもと発展を遂げた。

◆輸出で栄えた黄金期

明治5年ころからは現在の伊予郡松前町の唐津船で、販路を全国へと広げていった。さらに海外に向け、梅山窯の登り窯で現ミヤンマー向けに型絵染付の「伊予ポー」や呼ばれた茶碗を大量に輸出し最盛期を迎えた。



◆柳宗悦や浜田庄司らの民芸運動による再評価で砥部焼ブーム

戦後、伝統工芸視察のため思想家柳宗悦がイギリスの陶芸家バーナード・リーチと砥部を訪れる。そこで機械化による量産を戒め、磁器の産地でありながら実用食器が少ないことを指摘。現在の礎を築いた。さらに浜田庄司、富本憲吉らも、砥部焼発展の歴史に名を刻んでいる。



砥部焼に光をあてた柳宗悦

たのしいイベント もりだくさん

夜の動物園

夏と秋の週末に開催。イルミネーションで幻想的な世界で昼間とは違う動物を見ることができる。



キリンの瞳に大接近



普段入ることのできないキリンの寢室(2階)から、キリンと同じ目線でご対面。

ヒボヒボランチ



泳ぎの上手なカバ。水面から顔を出したカバに、エサをあげるイベント。大きな口が開くと吸い込まれそう!?

みんなのアイドル しろくまピース

1999年12月2日に誕生したメスのホッキョクグマ「ピース」は、国内初人工哺育で育った。真っ白で大きなカラダをゆすって動く姿はとてもかわいく、動物園のトップアイドル!



スイ

プールの下に潜り込んで、ペンギンを観察できる。まさに「水の中を飛ぶペンギン」



大迫力!!

▲ライオンウォッチング! ガラス越しにライオンに接近。食事風景も間近で見られる人気イベント

▲愛媛の里山を再現したバードパークは、鳥たちの住む舎の中を歩いて通ることができる



陶街道
五十三次
09

愛媛県立とべ動物園

大人も大興奮! 主役は動物
約160種750点以上を飼育する大規模な動物園。まるでサバンナの草原を切り取ったような柵のない混合展示のアフリカストリートや、オランウータンの空中散歩など、趣向をこらした展示は有名。いろいろな角度から動物たちを観察でき、「ふれあい広場」では、小動物たちとの触れ合いもできる。他にも日替わりでイベントも開催していて、大人も子どもも、楽しく過ごせること間違いない。

☎089-962-6000
📍砥部町上原町240
🕒9時～17時(入園16時30分まで)
🗓月曜(祝日の場合は開園)、12/29～1/1
👤大人 500円、小・中学生 100円、
高校生・65歳以上(要証明書) 200円
👤300円(普通車)

巻頭MAP B-3



砥部北部
動物園周辺

遊・楽・癒のワンダーランド 大人も子どもも楽しみ方いろいろ

多くのファミリーやカップルでにぎわう人気スポット

陶街道
五十三次
11

砥部焼陶芸館

砥部焼で粋なおもてなし



☎089-962-3900
📍砥部町宮内83
🕒9時～17時
🗓水曜(祝日の場合は翌日)、1/1
👤無料

巻頭MAP B-4

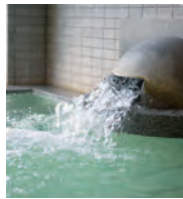


多くの窯元作品を一堂に展示・取扱う、窯元直営の砥部焼販売・体験施設。春と秋には窯出し市が開かれ、お買い得価格に多くの人が賑わう。外のトイレには、陶壁画などが随所にあしらわれ、絵柄の異なる手水鉢は、清潔感にあふれている。2階では、絵付けやろくろなどの体験ができる。

陶街道
五十三次
19

陶壁画に感嘆する美人の湯 とべ温泉 湯砥里館

弱アルカリ性のやさしい泉質で、肌がすべすべになるといわれ、地元では「美人の湯」と称される。四季を彩る山里の風景を臨む高台にあり気持ちのいい眺望が広がる。浴室の横3m縦1.5mの陶壁画は、春秋窯工藤省治氏デザインの「砥部更紗文」。魚文や草花が描かれている。館内では、七折小梅うどんなどの軽食も味わえる。



☎089-962-7200
📍砥部町宮内1902-3
🕒10時～22時(21時30分札止め)
🗓毎月1日、20日(祝日の場合は翌日)
👤大人 500円、子ども350円、
65歳以上400円、6歳未満無料
👤無料

巻頭MAP A-5



陶街道
五十三次
13

お城の森がまるごと遊び場 えひめこどもの城

とべ動物園に隣接する自然あふれる子ども王国。池にはボートが浮かび、モノレールや巨大滑り台で森を通り抜けることもできる。ヨーロッパのようなお城にはアスレチックや音楽室なども整備。子どもたちを釘付けにする遊びと学びのイベントも注目。コインロッカーや休憩所も多く、親子でたっぷり楽しめる。

☎089-963-3300
📍松山市西野町乙108-1
🕒9時～17時(夏休み期間中18時まで)
🗓月曜(祝日の場合は翌日)、
12/29～1/1
👤入園無料、乗り物や遊具等の利用は有料
👤300円(普通車)

巻頭MAP A-4



園内(2km)を約30分かけて1周するロードトレイン



通谷池



仙波溪谷



七折梅園



とべ温泉湯砥里館前

旅を彩ってくれるもの

それは、訪れた地で人情に触れたとき

それは、ハツと息を飲むシーンに出会ったとき

とべの里には四季折々の楽しみがある

季節のイベントカレンダー

4月 如月忌〔2月7日〕

砥部町出身の井上正夫（1881～1950年）は、抜群の演技力で映画・舞台にと活躍した名優。命日には、縁ある人や地元有志が、墓参、献歌、講話などで偉大な俳優を偲ぶ。◎社会教育課 TEL089-962-5506

七折梅まつり〔2月20日頃～3月10日頃〕

30種約1万6000本の山間の梅園で行われる、春一番の花イベント。開花時期に合わせて、花と香りに包まれて梅のタネ飛ばし大会やもちまきなどのイベントが行われる。◎ななおれ梅組 TEL089-962-3064

5月 砥部焼まつり〔4月第3土日曜日〕

砥部焼の大イベントで、毎年8万人を超える来場者がある。日用の器から、グレイドの高い品まで約10万点が並ぶ。窯元の感謝価格にも注目。◎商工観光課 TEL089-962-7268

5月 ほたるまつり〔5月下旬～6月中旬〕

清流に飛び交う天然のホタルを愛でる会。砥部地区では外山（とやま）、川登では坪内家、広田地区では玉谷、高市、峡の館など、いろいろな会場で行われる。◎商工観光課 TEL089-962-7268

6月 権現山お山開き〔旧暦6月1日〕

古くから山岳信仰を集める標高440メートルの権現山のお山開き。ご神体を信者が背負って山に登る姿は勇壮。神社拝殿前ではもちまきなどが行われる。◎広田支所 TEL089-969-2111

7月 権現山流しそうめん〔7月～9月上旬〕

権現山のおふもとで行う流しそうめんは地元の季節の風物詩。ふだんは静かで清らかな山間だが、素朴な味と涼を求めて多くの人が訪れる。◎商工観光課 TEL089-962-7268

8月 夜の動物園〔夏と秋 日時は問い合わせを〕

ふだんとは違う夜の動物たちの様子が楽しめる、愛媛県立とべ動物園の人気イベント。園内は動物が見えるような照明とイルミネーションで幻想的。雨天決行で、警報時は中止。◎とべ動物園 TEL089-962-6000

11月 秋の砥部焼まつり〔11月上旬〕

砥部焼の陶工たちが露店形式で対面販売を行う毎年恒例「秋の砥部焼まつり」。日頃の感謝を込めた価格で販売されるのもうれしい。他にも音楽ライブや郷土芸能、特産品販売やグルメなども楽しめる。◎商工観光課 TEL089-962-7268

11月 広田ふるさとフェスタ〔11月上旬〕

山間に広がる広田地域で開催されるイベント。郷土芸能発表のほか、キャラクターショーや歌謡ショー、高原野菜などの販売が行われる。◎広田支所 TEL089-969-2111

12月 ナイトファンタジー〔11月～12月の内の10日間 日時は問い合わせを〕

えひめこどもの城で行われるイルミネーション行事。約16万球のイルミネーションがこどもの城を彩る。計10日間程度のイベントで、地元以外にも多くの人が訪れる。◎えひめこどもの城 TEL089-963-0300

12月 広田じねんじよまつり〔12月上旬〕

砥部町の特産品である『じねんじよ』の即売や『じねんじよを使った料理』の試食などを中心に、広田地区の季節の特産品も並ぶ。◎道の駅ひろた峡の館 TEL089-969-2070

※天候等の諸事情により変更する場合がありますので、詳しくはお問い合わせを

出会えばラッキー 観光イベント （年中、随時開催）

坪内家イベント

江戸時代に陶石を粉碎する水車業を営んでいた旧庄屋の坪内家では毎月第2日曜に「川登市場」を開いている。他にも、野菜の即売、そうめん流し、川遊び、観月祭、田舎料理を楽しむ会など、随時開催している。◎NPO法人とべ・TOBE TEL089-962-2747

とべ日曜日

毎週日曜の朝からお昼頃まで、砥部町大南のとべ日曜市会場で開催。町内から集まった新鮮な野菜や果物、惣菜など手作りの甘い物などが並ぶ。常連さんも多い。◎とべ日曜日グループ TEL089-962-2147

とべ楽市

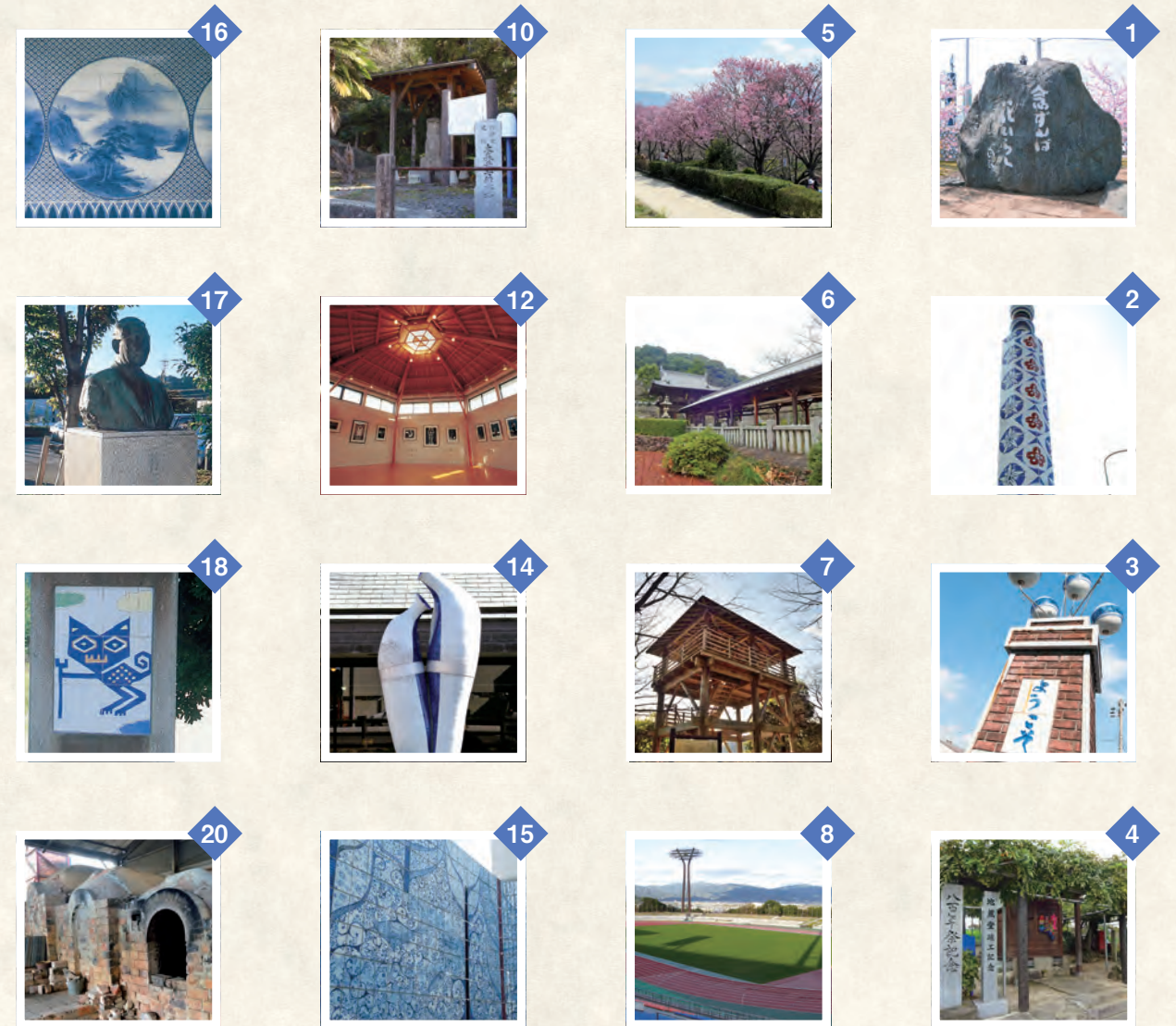
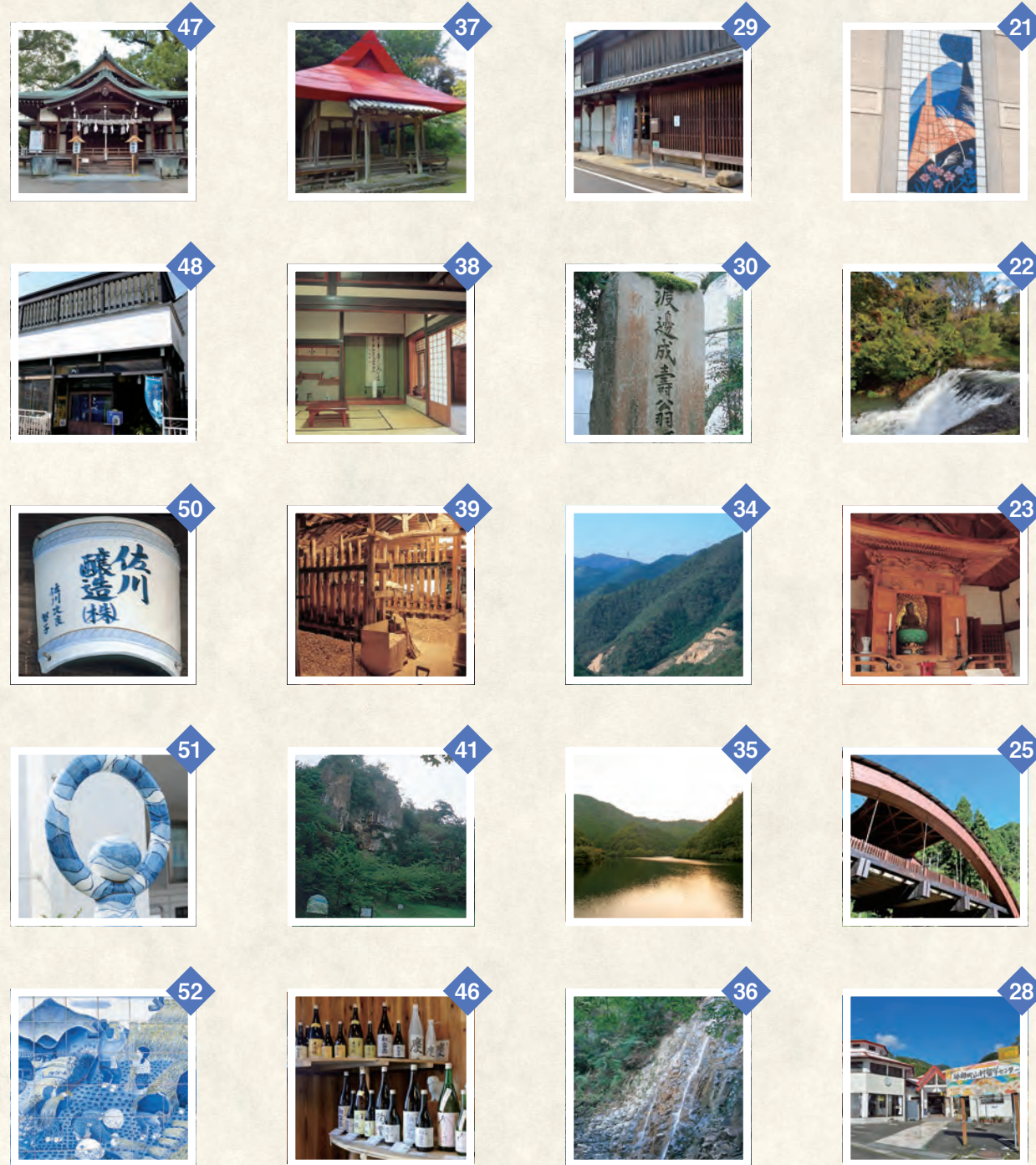
「江戸時代のようなにぎわいを」という想いから生まれた「とべ楽市」。奇数月の第2日曜日に、砥部町商工会（大南394番地）周辺が歩行者天国の楽しいエリアに。パズーや新鮮野菜、砥部焼などが並ぶ。◎砥部町商工会 TEL089-962-2148（土・日・祝日休み）

その他、砥部町のイベントは砥部町観光協会ホームページなどでも情報発信中。
<http://www.tobe-kanko.jp/>

小さな旅で、砥部の里の人・想い・技・景色を結ぶ

『陶街道五十三次』

平成21年に国土交通省「日本風景街道」に登録
(2～11ページで紹介できなかったポイントを写真一覧にしています)



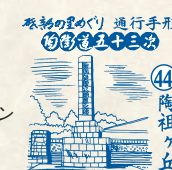
陶街道を歩く際に案内役になってくれるのが「陶街道五十三次しらべ帖」。手早く回りたい人には、1時間程度で中心地を回る「イレブンウォーク」がおすすめ。
©商工観光課Tel.089-962-7288

- 53 砥部焼伝統産業会館(↓3P)
- 52 JA砥部の陶壁画と映写機
- 51 砥部町商工会館
- 50 手づくり醤油工場
- 49 大南商店街モニュメント(↓3P)
- 48 とべむかしのくらし館
- 47 大宮八幡宮
- 46 初雪盃酒造資料館
- 45 砥部町陶芸創作館(↓4P)
- 44 陶祖ヶ丘(↓2P)
- 43 陶板の道(↓2P)
- 42 陶里ヶ丘(↓4P)
- 41 砥石山公園
- 40 梅山大登窯(↓6P)
- 39 川登陶石と砥部陶磁器原料の水鏡
- 38 坪内家
- 37 川富神社
- 36 銚子滝
- 35 銚子ダム公園
- 34 上尾陶石
- 33 農村工芸体験館(↓11P)
- 32 農村工芸体験館(↓11P)
- 31 長曾池キャンプ場(↓11P)
- 30 権現山(↓10P)
- 29 山村留学センター
- 28 佐々木酒造の主屋と煉瓦煙突
- 27 道の駅ひろた「峡の館」(↓11P)
- 26 陶芸舎とふるさと生活館(↓11P)
- 25 神の森大橋
- 24 仙波溪谷(↓10P)
- 23 岩谷霊岩寺の厨子と須弥壇
- 22 砥部衝上断層
- 21 松山南高砥部分校の陶壁画
- 20 登窯
- 19 とへ温泉湯砥里館の陶壁画(↓9P)
- 18 砥部町陶街道ゆとり公園アリーナへの道陶板
- 17 文化会館の井上正夫陶像と資料室
- 16 砥部町庁舎の四季山水陶壁画
- 15 中央公民館の陶壁画
- 14 中央公民館の友愛の像
- 13 えひめぐりもの城(↓8P)
- 12 ミユゼ里山房
- 11 陶壁画と手水鉢(↓6P)
- 10 大森彦七供養塔
- 9 愛媛県立とべ動物園(↓8P)
- 8 愛媛県総合運動公園
- 7 水満田古墳公園
- 6 理正院と麻生の金毘羅さん
- 5 赤坂泉
- 4 大森彦七伝説の魔住ヶ窪
- 3 「よつこそとべ町へ」モニュメント
- 2 陶街道夢タワー「愛伊砥くん」
- 1 「念ずれば花ひらく」百番碑

県外の方は5つのポイントを回ったら
砥部焼特製の特選メダルがもらえる。
問い合わせは砥部焼伝統産業会館Tel.089-962-6600



それぞれのデザイン
のスタンプ



ブルーが目印の
スタンプ台と旗

砥部町に点在する名所旧跡を巡る「陶街道五十三次」。地元ではしらべ帖を持って巡るスタンプラリーで知られる。車で、徒歩で回ることができ、ポイント数によってお楽しみもある。

Made in Tobe

空と風と土の恵みを今に伝える



きれいな水と空気で育った
干しシタケ
広田の山の恵みがギュッと詰まった干しシタケ。生いたけとは違う独特の香りを楽しんで。

知る人ぞ知る、
柑橘の産地
日常の景色のみかん畑。イヨカンやデコポンなど、いろんな柑橘が街中で気軽に手に入る。



農家が丹精込めて作った
七折の梅製品
品質の高さで有名な「七折小梅」。梅干しは酸味が柔らかく種が小さいのが特徴。お酒、ジャム、シロップなども人気。



昔ながらの砥部の
醤油・味噌
懐かしい香りと色で、砥部の里で昔から親しまれてきた醤油と味噌。今も昔ながらの製造を守る。



山深い広田の
じねんじょ
特産品のじねんじょは味の良さは折り紙付きで、全国のファンにも愛されている。

手間暇かけて作った
こんにゃく
日本古来のこんにゃく芋を使用し、手作り製法で今に味を伝える老舗のこんにゃく。

Eat in Tobe

道草も楽し、お食事どころ、お休みどころ



Jutaro
ランチもカフェも味わえる。地元の新鮮素材も楽しみ。
☎ 089-960-7338
☎ 砥部町千足359
(砥部焼観光センター内)
☎ 11時～18時(18時以降予約制)
☎ 第2木曜(祝日は営業)



巻頭MAP B-5



農村食堂こぶしの家
せせらぎが心地よい川辺。地元の山菜を使ったうどんがおすすめ。
☎ 089-969-2156
☎ 砥部町総津159-1
☎ 10時～17時
☎ 火曜



巻頭MAP E-3



うどん茶屋北斗 砥部店
自家製の麺とこだわりのつゆが自慢。愛媛産食材を使ったメニューも豊富。
☎ 089-962-7717
☎ 砥部町上原町280
☎ 11時～22時 ☎ 無休



巻頭MAP B-3



トークギャラリー紫音
「日常使いの器」を中心に取り扱う砥部焼のセレクトショップ。
☎ 089-962-7674
☎ 砥部町五本松885-13
☎ 10時～18時
☎ 火曜、第3水曜



巻頭MAP C-6



手打蕎麦処 富そば
石臼で挽いたそば粉と水だけで打つ麺が特徴。
☎ 089-962-2053
☎ 砥部町大南485
☎ 3～10月11時～15時、11～2月11時30分～15時
※無くなり次第終了
☎ 木曜、第2水曜(祝日は営業)



巻頭MAP B-6



山のレストラン ひろたの森
体にやさしいイタリアンレストラン。道の駅ひろた「峡の館」からすぐ。
☎ 089-969-2258
☎ 砥部町総津117 ☎ 11時～日没
☎ 月曜(祝日の場合翌日)
12～2月は土・日営業ほか不定休



巻頭MAP E-3



酒蔵カフェはつゆき
酒蔵の2階で酒樽の蓋がテーブル。お酒の香りがするカフェ。1階に直売所蔵元あり。
☎ 089-962-2717(協和酒造)
☎ 砥部町大南400
☎ 11時～15時30分
☎ 月～木曜(祝日は営業)



巻頭MAP B-6



Zoo's Kitchen
砥部焼陶芸館の2Fにある、小さな小さなカフェです。
☎ 089-962-3900
☎ 砥部町宮内83(砥部焼陶芸館内)
☎ 9時～16時
☎ 水曜(その他砥部焼陶芸館の休館日に準ずる)



巻頭MAP B-4

交通 information

砥部町は松山市に隣接する、観光に便利なまち

砥部町への
アクセス



松山空港

リムジンバスで約25分



松山観光港

リムジンバスで約25分



JR松山駅

市内電車で約7分



松山インター

国道33号を砥部町方面へ

松山市駅



伊予鉄バス「砥部線」

※伊予鉄バスの時間のめやすは、「砥部線」の「断層口」行き、または「大岩橋」行きで、「砥部町役場西」まで約40分、「砥部焼伝統産業会館前」まで約45分。「砥部線」は30分毎に運行

※「砥部焼伝統産業会館前」まで約15分

※所要時間はめやす

砥部町



松山市までのアクセス



東京(羽田・成田)、大阪(伊丹・関空)、名古屋(中部国際)、福岡、鹿児島、沖縄(那覇)と松山空港を結ぶ空路あり



広島港、小倉港、柳井港を結ぶ航路あり



JR高松駅を結ぶ予讃線、JR岡山駅を結ぶ予讃線あり



東京、大阪、神戸、京都、岡山、高松、高知、徳島、福岡、新尾道・福山を結ぶ高速長距離バスあり

砥部町内タクシー



●砥部タクシー
Tel.089-958-3311

砥部町が最も砥部焼に染まるイベント

砥部町では、いろいろな砥部焼イベントが行われますが、中でも町内外から多くの人が詰めかけるのが「砥部焼まつり」。4月第3土・日曜に行われる春は、日用の器から高級品まで約10万点が、11月上旬に行われる秋は、会場を歩行者天国にして窯元自ら対面販売を行います。

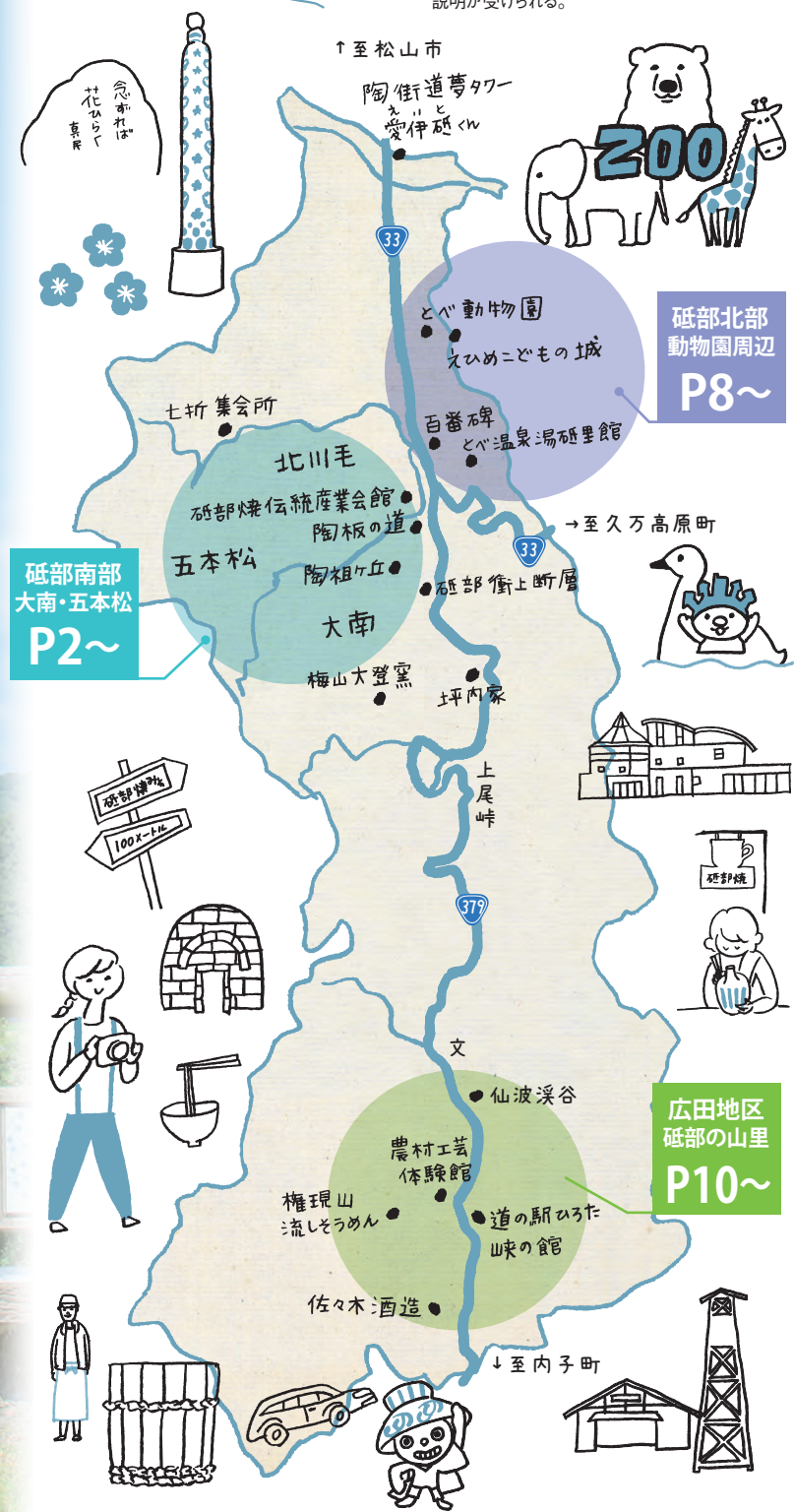


砥部町 早わかりMAP

大きく3つのゾーンに
観光ポイントが集まっている砥部町

大人も子どもも楽しめる『砥部北部 動物園
周辺』、砥部焼の歴史を知る施設や窯元が
多い『砥部南部 大南・五本松』そして、砥部
町の奥座敷の『広田地区』エリア。魅力ある
ポイントは、すべて『陶街道五十三次』に含
まれているので、それを目印に回ってみよう。

※『陶街道五十三次しらべ帖』は、53番の『砥部焼
伝統産業会館』で販売。また、大南・五本松エリアの
11ポイントを歩く『イレブンウォーク』についてもここで
説明が受けられる。



表紙
撮影場所
ふらっと立ち寄れるお接待ギャラリー
「村の駅 五本松」

砥部町は、観光地や名所を巡る「陶街道五十三次」や窯元散策
が楽しい町。お接待ギャラリー「村の駅 五本松」は、藁葺きの古民
家を利用した休憩どころ。トイレやひと休みたい時に立ち寄って
みてください。砥部焼の展示と販売も行っており駐車場もあります。

☎ 089-904-5586 住 砥部町 五本松36
営 11時～16時 金曜

巻頭MAP B-6

〈砥部町中心地マップ〉
縮尺=1/30,000

※この地図の作成に当たっては国土地理院発行の国土基本情報を使用しています。